



**コスモ アースコンシャス アクト**  
**アースデー・コンサート**

powered by  
 **コスモ石油** &  **TOKYO FM**  
Just Me, Just 80MHz  **JFN**

**2007・4・22 開催概要**  
**今年のステージアクト出演者がm-flo、RAG FAIR、加藤ミリヤ、minkに決定！！**  
**<Message to the Blue Planet>を世界に発信**

TOKYO FMをはじめとするJFN(全国FM放送協議会加盟 38局)と、コスモ石油株式会社が、毎年パートナーシップを結んで開催している「アースデー・コンサート」。

今年のアースデー・コンサートは、未来を担う若い世代に向けて、<Message to the Blue Planet>をコンセプトに実施いたします。

TOKYO FMをはじめとするJFN(全国FM放送協議会加盟 38局)と、コスモ石油株式会社は、パートナーシップを組んで、地球環境の保護と保全を全世界に呼びかけていく活動「コスモ アースコンシャス アクト」を展開しています。1990年の活動スタートより、毎年4月22日の「アースデー」に、音楽を通して「アースコンシャス〜地球を愛し、感じるころ」を世界の若者にむけてメッセージする「アースデー・コンサート」を年間最大のイベントとして実施しています。例年「アースコンシャス」の趣旨に賛同した内外のアーティストたちの地球への愛を歌い上げる一夜かぎりのライブが話題を集めて来ました。

今年で18回目となる本年度は、宇宙的視点からアースコンシャスなメッセージを込めた様々なジャンルを融合した音楽制作を行なっている『m-flo』、「エコを楽しもう！」など環境意識も高く、極上のハーモニーでアカペラ・エンターテインメントを創り出す『RAG FAIR』、アースコンシャスが「あたりまえ」のこととして育ってきた世代を代表する、ハスキーなクリスタルボイスを持った18歳のシンガーソングライター『加藤ミリヤ』、自然を愛し、地球を愛する実力派シンガーで、その卓越した歌唱力・表現力でモンゴル建国800年記念映画「蒼き狼 地果て海尽きるまで」の主題歌にも抜擢された『mink』を迎えます。

21世紀になり7年が経ち、人々の地球環境に対する意識、行動も大きく変わりました。特に、これからの地球で暮らし、地球の未来を担う若い世代の意識・行動が大きく変革しています。

そして、宇宙旅行が手に届く時代が近づいている現在、宇宙から見た「青い地球」が美しいままであり続けて欲しいと誰もが願い、その「青い地球」の未来を考えたとき、「今、僕たちが何をすべきか」ということは、若者たちにとってこそ切実な問題です。

2007年の「アースデー・コンサート」は、環境意識が強く、若者に等身大でコミュニケーション出来る4組のアーティストたちの出演により、<Message to the Blue Planet>のコンセプトの下、未来を担う若い世代に向けて「青い地球」の未来の為に「今、出来ること」をメッセージしていきます。

(TOKYO FM HP : <http://www.tfm.co.jp/earth/>    コスモ石油HP : <http://www.cosmo-oil.co.jp>)

## 【コスモ アースコンシャス アクト アースデー・コンサート 実施概要】

- 名称 : コスモ アースコンシャス アクト アースデー・コンサート
- 実施日 : 2007年4月22日(日)
- 会場 : 日本武道館
- 実施時間 : 16:30 開場/17:30 開演
- 料金 : 指定席 5,250円(税込)
- チケット : 3月25日(日) 一般発売開始
- 出演 : m-flo、RAG FAIR、加藤ミリヤ、mink
- 主催 : TOKYO FM/JFN
- 特別協賛 : コスモ石油
- 企画制作 : TOKYO FM/エイベックス・ライヴ・クリエイティヴ
- 運営 : キョードー東京
- 協力 : エイベックス・エンタテインメント/トイズファクトリー/ソニー・ミュージックレコーズ
- 問い合わせ : TOKYO FM エンタテインメント事業部 03-3221-0080(一般のお客様からの問い合わせ先)  
キョードー東京 03-3498-9999(チケットに関する問い合わせ先)
- 放送概要 : ラジオ特別番組の中継放送を実施  
放送日時 2007年4月22日(日)18:00~20:00(予定)  
JFN加盟全国民放FM38局で生放送 及び 世界各地へ中継予定
- HP : TOKYO FM HP : <http://www.tfm.co.jp/earth/> コスモ石油 HP : <http://www.cosmo-oil.co.jp>

※本コンサートの名称記載に際しましては、必ず「コスモ アースコンシャス アクト アースデー・コンサート」という正式名称を記載いただきますよう、お願い申し上げます。

### ◎m-flo プロフィール

☆TakuとVERBAL、2人からなるプロデュースユニット。98年、LISAをヴォーカルにm-floとしてスタート。99年、メジャーデビュー。1stシングルはオリコン初登場9位、2000年リリースの1stアルバムはオリコン6位。また、m-floと並行して他アーティストへの楽曲提供、コラボレーションなどの活動も展開。02年にLISAが脱退。03年から、曲ごとに違うアーティストとコラボする斬新なスタイルで再始動。Crystal Kay、CHEMISTRY、BoA、坂本龍一等の豪華アーティストとコラボした3rdアルバム『ASTROMANTIC』を04年にリリース、オリコン初登場2位、50万枚超のセールスを記録。05年8月、“Loves”シリーズ第2章の集大成・4thアルバム『BEAT SPACE NINE』をリリース。10代のEmyli、加藤ミリヤから、大ベテラン和田アキ子、オリジナルメンバーLISAなど、年齢・ジャンル等を飛び越えた“Loves”で、オリコン初登場1位。そのアルバムを引っ提げた全国ツアーは大盛況。またリミックスアルバム『DOPE SPACE NINE』もリリース。KREVAやマボロシ等々、錚々たるRemixer陣による楽曲は、REPRODUCEされた新曲と言っても過言ではない。05年、NHK紅白歌合戦に和田アキ子と出演。06年1月、DVD付『BEAT SPACE NINE-special edition-』を、2月、ライブDVD「m-flo TOUR 2005 BEAT SPACE NINE at 日本武道館」をリリース、オリコン初登場3位。06年は6月にシングル「Summer Time Love / m-flo loves 日之内絵美&Ryohei」、7月にはm-floがプロデュースやフィーチャリングなどで参加した“ソトシゴト”集『m-flo inside-WORKS BEST 2-』をリリース。様々なフェスティバルにも出演。そして2007年の3月28日には待望のニューアルバム『COSMICOLOR』をリリースする。Crystal Kay、安室奈美恵、倅田來未、Charaなどなど、今回もまた超豪華なLovesアーティストを迎え、Lovesシリーズ最終章にして最高傑作の仕上がり。6月にはそのアルバムを引っ提げ全国ツアーを実施。ツアーファイナルの7月21日には、横浜アリーナで巨大パーティを開催する。

### ◎RAG FAIR プロフィール

1999年関東の大学のアカペラサークルのメンバーを中心に結成、フジテレビ系「力の限りゴーゴゴー!!」の人気コーナー「ハモネプ」にゲスト出演、一躍人気者となる。2001年12月メジャーデビュー。2002年6月には『恋のマイレージ』『She サイドストーリー』同時発売し、1・2位独占。同年、NHK紅白歌合戦に出場。2005年12月には、6人のアカペラのための武道館公演を行った。調和のとれた絶妙なハーモニーと独自のパフォーマンスとトークは楽しい！プラス感動的な世界観として定評があり、各方面から絶賛。ライブのリピーターも多く、ローティーンからミドルエイジま

で幅広い客層が足を運んでいる。従来のアカペラのイメージとは一線を画したオリジナルな「アカペラエンターテインメント」を作り出している。4月18日には、シングル「夏風便り/ココロ予報」、昨年からの全国ホールツアーの最終公演 NHK ホールを収録したライブ DVD「RAG FAIR TOUR“オクリモノ”」の同時リリースが決定している。

#### 【メンバーコメント】

「エコを楽しもう！」エコは誰もが参加したいと思ってるし、気持ちのどこかにあると思う。それをいかに楽しめるか！なんです！

ちなみメンバーの愛車はハイブリッドカーまたは軽自動車。エコ関連のイベントでは、これまで、「Lingkaran web」(土屋礼央)、「愛・地球博 ラブリバーコンサート」などに参加。

#### ◎加藤ミリヤ プロフィール

18歳のシンガーソングライター。14歳から作詞・作曲を始め、2004年に「Never let go/夜空」でデビュー。リアルな女子高生の心情を綴った「ディア ロンリーガール」でスマッシュヒットを記録すると、UAの「情熱」を大胆サンプリングした「ジウネツ」、1st ALBUM「Rose」を立て続けにリリース。「Rose」はオリコン初登場2位を記録。2006年にはミリヤならではの等身大リックが話題を呼んだ、「ソツギョウ」「Last Summer」そして、初の映画主題歌「I WILL」リリース。2007年、映画「バブルへ GO!! タイムマシンはドラム式」の主題歌「Eyes on you」を2月7日にリリース。c/wには Tanto Metro & Devonteの「Everyone Falls In Love」をサンプリングした「このままずっと朝まで」を収録し、先行限定アナログが即日完売した。3月7日には、「ソツギョウ」から「Eyes on you」までの4シングルを含む、待望の2nd ALBUM「Diamond Princess」を発売！5月からの、初の全国ワンマンツアーも決定し、更なる飛躍が期待される。

#### ◎mink プロフィール

2005年デビュー。卓抜な歌唱力でノラ・ジョーンズ、マライア・キャリーのカバーもこなす実力派シンガー。モンゴル建国800年記念映画「蒼き狼～地果て海尽きるまで」(3/3公開)の主題歌に抜擢。最新アルバム「Shalom」をリリース(2/28)。地球に優しい自然志向の「THE BODY SHOP」とのコラボレーションなど環境への関心も深い。動物愛護、世界平和の精神を強く持ち、その心は歌にもあふれている。

### 参考資料:「コスモ アースコンシャス アクト」に関して

#### ◎コスモ アースコンシャス アクト

このコンサートをメインイベントとする「コスモ アースコンシャス アクト」は、コスモ石油とTOKYO FMをはじめJFN38局が、年間を通じて展開する一連の地球環境保全をメッセージする活動の総称。イベント、ラジオ番組、インターネットなどを通じて、私たちひとりひとりが地球のためにいまできることから行動を起こそう、という呼びかけを行っています。

#### ◎アースコンシャスとは

アースコンシャスは造語です。“はたして地球はいつまで人間の棲息を保証してくれるのか”そうした問題意識から誕生した国際的団体ローマ・クラブはマサチューセッツ工科大学にいち早く地球環境問題の研究を委嘱しました。その成果であるレポートをとりまとめた書「成長の限界」はすでに1972年に“我々人類があらゆる分野で幾何級数的成長を遂げたとき、世界的協力がなければ問題は驚くべき程度にまで深刻化し、自ら制御能力を超えてしまう”と警鐘を鳴らしています。TOKYO FMは1990年メディアとしてこの問題に取り組むべく、活動にのり出しました。その時「母なる地球」への想いを込めて造った言葉がアースコンシャスです。

#### ◎アースデーとは

アースデーは、“地球環境の問題を、私たちの身の周りのこととして考えていこう”という市民レベルの活動としてアメリカでスタートしました。1970年、G・ネルソン上院議員が4月22日を“アースデー”と宣言し、当時アメリカの市民運動の指

導者であったデニス・ヘイズ氏がこの概念を具現化する行動をアメリカ全土に呼びかけて、一大ムーブメントとなりました。現在では、世界約140カ国で約2億人の人たちが行動を起こすほどの広がりを見せています。

### ◎アースデー・コンサート 過去の出演アーティスト

渡辺貞夫、ジェームス・テイラー、リー・リトナーらブラジル・プロジェクト(90年)、坂本龍一とユッサー・ン・ドゥール(91年)、久保田利伸とキャロン・ウィーラー(92年)、TOSHIとジャニス・イアン(93年)、サンタナとオルケスタ・デ・ラ・ルス(94年)、ユーログループ・小室哲哉とアース・ウィンド&ファイアー(95年)、ドゥービー・ブラザーズと玉置浩二(96年)、エターナルとMAX(97年)、ダリル・ホール&ジョン・オーツとシング・ライク・トーキング(98年)、ドリームズ・カム・トゥルー(99年)、杏子・山崎まさよし・スガシカオ・COIL(00年)、19・hitomi・忌野清志郎(01年)、CHAGE&ASKA、BoA、倅田來未、INSPi、山崎まさよし(02年)、忌野清志郎、佐野元春、及川光博、夏川りみ(03年)、今井美樹、大貫妙子、小坂忠、佐野元春、高野寛、チェン・ミン、CHARA、bird、ハナレグミ、松任谷由実、森山良子、矢野顕子(04年)、宮沢 和史 with Catia, Diana Arbenina, Tomek Makowiecki、東京スカパラダイスオーケストラ、一青窈(05年)、倉木麻衣(06年)

### 「コスモ アースコンシャス アクト」の主な活動

#### ◎ラジオレギュラー番組 コスモ アースコンシャス アクト ずっと地球で暮らそう。

石川實がパーソナリティを務める「SKY」内で環境番組「ずっと地球で暮らそう。」を放送中です。

毎朝 JFN38局のレポーターが生中継で自然環境に関する話題などのアースコンシャスなトピックスをお届けする番組です。番組の最後には地元の特産品をプレゼントしています。

・放送日時: 毎週 月曜～金曜 6:40～6:45 (JFN38 局ネット)

・パーソナリティ: 石川實、JFN各局レポーター

また、2007年1月より、ポッドキャストとストリーミング配信で番組をそのまま無料にて配信しています。

(<http://reco.jfn.co.jp/podcasts/tokyo/earth/>)

#### ◎クリーン・キャンペーン

コスモ石油と JFN 全局では、2001年度より、全国の山、川、海、湖、公園を舞台に、自然と親しみながら清掃活動を行う「クリーン・キャンペーン」を行ってきました。これまでの期間、242ヶ所で清掃活動を行い、91,619人の方々にご参加いただき、1,833,772リットルを超えるゴミを回収するという成果を上げております。各局の番組パーソナリティも参加し、FMリスナーやボランティアとともに清掃活動をおこない、エコ・トークやアーティストによる生ライブ、スポーツイベントなど各放送局の創意工夫により地域に根ざした活動として展開してきており、2007年度も引き続き全国で展開予定です。

#### ◎野口健 講演会

アルピニスト野口健さんを迎え、エベレストや富士山の「ゴミ」に象徴されるような環境問題を一緒に考える場として、全国で講演会を実施しています。2000年より4年計画で毎年実施したエベレスト清掃登山や、現在取り組んでいる環境教育など、野口健さんが熱く語ります。

#### ◎ホームページ

ホームページでは、コンサートをはじめ本活動の最新情報を紹介し、年間を通じて地球環境保全への積極的な参加を呼びかけています。

TOKYO FM HP : <http://www.tfm.co.jp/earth/>

コスモ石油 HP : <http://www.cosmo-oil.co.jp/>